

2輪貸切走行 車両・装備規定

2026年1月

サーキット施設内および周辺道路を含めた環境・近隣配慮へのご理解とご協力、誠にありがとうございます。
当施設は、全てのお客様が安全に、かつ気持ちよくご利用いただけるよう、「ライダー安全装備と車両規定」
などの重事項を明記しています。よくお読みいただき、ご理解ご協力をお願いいたします。

走行されるお客様への重要なお知らせ

●当施設では、道路運送法に基づき、以下の車両の入場を固くお断りいたします

- ・仮ナンバー（臨時運行許可番号標）を装着した車両
- ・保安基準に適合しない違改造車両（不正改造車）
- ・その他、法令に違反した状態の車両

該当車両を発見した場合は、速やかに当施設よりご退出いただきます。なお、ご退出に伴うトラブルや損害等について、当施設は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。

●サーキットの行きかえりにおける運転マナー

- ・速度超過や暴走行為、不要な空ぶかし、集団でのご来場は近隣迷惑となるため禁止です。
- ・夕方から夜間、早朝に周辺を走行する際は、特に低回転での静かな走行をお願いいたします。
- ・安全運転を徹底し、ライダーとしての良識を持ち交通ルールを厳守してください。

●車両音量規制値の厳守をお願いします

- ・直管（ストレート）マフラー、消音効果の認められないマフラー車両の走行は禁止です。
- ・各施設（コース）に設定された音量規制値を厳守していただきます。超過した場合は走行を中止させていただきます。走行中止に伴うトラブルや損害等について、当施設は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。

●服装と装備品の確認、徹底をお願いします

- ・ご自分の身を守るため、ヘルメット、ウェア、グローブなどは、規定に合致したものを必ず着用してください。
- ・半キャップ型および作業用ヘルメットの着用、軍手、素手によるハンドル操作、サンダル履きでの走行は禁止です。
- ・装備品へのカメラ、インカム等の電子機器類の装着は禁止です。

ライダー安全装備に関する詳細

1.ヘルメット：フルフェイス型に限ります。

- ・MFJ公認のものを推奨します。
- ・ジェット型、フリップアップ型、オフロード用、半キャップ、工事用のものは使用不可。
一度転倒等で衝撃を受けたものや、たとえ外傷等がないものでも使用が2年以上過ぎた場合には、衝撃吸収力が低下している場合がありますので、新品交換をお勧めします。
- ・転倒時に迅速なレスキュー及び自己の安全のため、ヘルメットリムーバーの着用を強くお勧めします。

2.服装

- ・レーシングスーツは、皮製もしくは皮製と同等の素材のものでMFJ公認のものを推奨します。ただし、セパレートタイプは、上下つながるファスナー付きものに限りません。転倒による破れ等がある場合は、確実に修理、メンテナンスを行ってください。
- ・脊椎パッドは、必ず装着してください。脊椎パッドの装備がないレーシングスーツを着用される場合は、必ずインナー脊椎パッドを着用してください。
- ・チェストガード（胸部プロテクション・インナータイプ）を必ず装着してください。
- ・エアバッグベストの装着を強く推奨します。
- ・レーシンググローブは、皮製もしくは皮製と同等の素材のものとし、指先および手首が覆われているものに限りません。
- ・軍手、布製のグローブは不可。
- ・レーシングブーツを着用してください。高さ200mm以上あるものを推奨します。革製のロングシューズは禁止です。

※体験クラスの方は上記サーキット走行に必要な装備でなくとも走行可能ですが、ライディングに相応しい服装（半キャップ、半袖、素手、サンダル等、肌が露出する恰好は禁止）をご準備下さい。

車両規定に関する詳細

1. ノーマル車両の定義

国内メーカーより市販された車両で、吸排気系が完全ノーマル状態のもの。外国メーカーの車両は、国内メーカーの車両と同等の排気音量とする。

2. 登録車両（ナンバー付き）の定義

一般公道での使用を目的に、『道路運送車両法』および『道路運送車両法の保安基準』に適合し車検合格した登録車両（ナンバー付き）。なお、車検対応範囲内での変更（改造）は可能。

3. 競技車両（レーサー）の定義

- ・競技を目的に製作された専用車両
- ・一般市販車をベースに競技用に改造された車両。

4. 保安部品

ノーマル車両および登録車両（ナンバー付き）での走行の際は、ヘッドライト、ウィンカー、バックミラー等を取り外さなくても構いません。その場合、ビニールテープ等で飛散防止対策をしてください。また、保安部品の一部を取り外していただくことも構いません。

5. タイヤ・ホイール

タイヤバランス用ウェイトは、ガムテープで固定し脱落がないようご注意ください。

6. 4サイクル車両オイル受けアンダーカウル装着について

4サイクル車両のオイル漏れによる転倒事故が多発しております。事故防止のためオイル受けアンダーカウルの装着を強く推奨します。

7. ゼッケン

タイム計測を行わない場合でもゼッケンの貼付が必要となりますので、フロント及び両サイドに貼付してください。車両形状により貼付が困難な場合はお問い合わせください。

8. 音量について

走行する全ての車両は、消音効果を持つサイレンサーを装着し、下記の音量規制値に合致したものに限定させていただきます。走行車両を自走でご来場する場合、公道では保安基準適合範囲内の音量規制値を超えないようご注意ください。

○コース2000

測定方法		距離 (m)	音量規制値 (db)
測定A	競技用車両（レーサー）	0.5	105下
	登録車両（ナンバー付き）	0.5	96以下
測定B	競技用車両（レーサー）	10	110以下
	登録車両（ナンバー付き）	10	100以下

- ・測定A：車両の排気量別に定められたられた回転数(目安:5,000～7,000回転)で行います。
- ・測定B：走行時にコントロールタワー前を通過した際に測定した数値が規制値以下とする。
- ・音量測定をご希望の方は、コントロールタワー1Fまでお申し出ください。

○コース1000

- ・ミニバイク／2ストローク49cc以上80cc以下の車両・4ストローク150cc以下の車両 音量規制値105dB以下
- ・2輪（上記ミニバイク以外）／コース2000に準ずる。

9. カメラ・無線機

- ・装備品（ヘルメット、スーツなど）にカメラや無線機を装着することは禁止します。
- ・車載カメラを取り付ける際は、カメラと台座のみとし延長ステーの取り付けは禁止です。台座を含めて15センチ以内で施工してください。
- ・車体へのカメラ、無線機およびデバイスの取り付けを行う場合は、走行中に落下しないよう万全な対策を施してください。取り付けステーの長さや取り付け状態によっては、走行中の安全が守れないと判断し取り外していただく場合もありますのでご注意ください。